

学生の就労意識と学内合同福祉施設説明会についての一考察

－名古屋経営短期大学における取り組み事例報告－

A Study of Employment Consciousness of Students and Care Worker Job Fair in College

－The Case of the 2017 Welfare Facilities Program
in Nagoya Management Junior College－

大仲 聡子

三好 禎之

Satoko Oonaka

Yoshiyuki Miyoshi

〈摘要〉

本学では、健康福祉学科とキャリア支援課が連携して、平成26年度より毎年5月、学内において、複数の介護福祉施設が出展する「学内合同福祉施設説明会」（以下、福祉合説）を開催して、学生への就職支援の強化を図っている。

本論は、介護福祉系の就労形態の多様化に対応し、就職支援に関する取り組み内容や方法を更に充実することを目的として、平成29年度の福祉合説に参加した学生の就職に対する意識についてのアンケート調査、並びに出展した福祉施設の採用担当者から開催についてのアンケート調査を行い、その調査結果を基に次年度に向けての福祉合説の方向性を検討する。

〈キーワード〉 学内説明会 合同説明会 キャリア支援 健康福祉 就職支援
福祉施設 アンケート

I. はじめに

平成29年度の介護労働実態調査において、介護サービスに従事する従業員の過不足現状は、不足感（「大いに不足」＋「不足」＋「やや不足」）は66.6%（前年度数値62.6%）であった。過半数の介護サービス事業所が人材不足を憂慮しているという調査結果が明らかになった¹⁾。また、平成29年11月の有効求人倍率の状況の統計では、全国では1.56倍、東海では1.76倍、愛知県では平均1.86倍に対し、介護福祉関係においては6.01倍という非常に高い水準であった²⁾。介護福祉関係の労働需要が高まり、一層の人材不足が懸念される。本学において医療福祉職の求人割合は、この4年間20%以上の高水準である³⁾。

しかし、このような状況の中、本学健康福祉学科生の11月の内定率は、この4年間50

～70%である⁴⁾。これは本学の他学科や他大学と比べて決して高くはない⁵⁾。この要因として、本学健康福祉学科での介護福祉士養成では、国家試験となった介護福祉士受験資格のため、2年間に2,040時間の必修科目を履修しなくてはならないことがあげられる。学生はその準備やレポート等でかなり多忙となっており、特に介護実習の重要性から、2年次夏季介護施設実習終了まで就職に意識が向いていない。自主的に介護福祉施設見学や説明会に参加できない学生は、夏以降の比較的遅い時期に就職活動を開始している。このことは大学のカリキュラム上、直ちに解決できない問題である。

介護福祉関係の就職選択肢の増加がある一方、多くの大学生が就職活動において不安を感じ⁶⁾、順調に就職活動を進められていない。介護福祉施設・事業所の採用活動の特徴をよく理解した上で、就職活動を始める⁷⁾ことが重要である。

そこでキャリア支援課では、多忙な健康福祉学科の学生が介護福祉関係の情報に触れ、就職活動の意識を高められるように、実習棟掲示板に介護イベント、ボランティア、説明会などのポスターやチラシを掲示し、情報提供を視覚的効果で与えている。しかし掲示した情報で就職活動する学生は少ないため、少人数で個々の課題に応じた福祉合説が、本学学生の就職意識を高める機会になると考え、平成26年度より毎年5月、健康福祉学科とキャリア支援課が連携して、学内において少人数で質問ができる対面式で、複数の介護福祉施設が出展する福祉合説を開催している。高求人倍率にも拘らず敢えて福祉合説を本学が開催するのは、単に就職することができればよいというのではなく、本学の学生がその介護福祉施設において、キャリア形成ができるようになるためという目的もある。また、福祉合説開催の案内を学内に掲示することにより、他学科生にも介護福祉関係の就職情報提供及び職業選択肢を示すねらいも含めた。

II. 目的

本論では、介護福祉職をめざす学生の就労意識等を調査し、就職支援の取り組みについての予備研究として位置づけ、平成29年度の合説に参加した本学健康福祉学科生の就職に対する意識のアンケート調査、並びに出展した福祉施設の採用担当者から福祉合説開催についてのアンケート調査で現状を把握した。この調査結果を基に次年度に向けての福祉合説の取り組み内容について再検討し、今後の就職支援の方向性を考える。

1. 学内合同福祉施設説明会の概要

平成 29 年度福祉合説概要を表 1 に示す。

表 1：学内合同福祉施設説明会概要

開催日時	平成 29 年 5 月 18 日（木）午後 1 時～3 時
会場	本学文化センター 3 階 C31 教室（収容：108 名程度）
集合	平成 29 年 5 月 18 日（木）午後 0 時 40 分 <ul style="list-style-type: none"> ・本学 1 号館 143 教室（事前説明） ・リクルートスーツ着用
出展施設（内訳）	29 施設（28 法人、施設担当者数 55 名） 医療法人 4 社会福祉法人 20 研究法人 1 企業 4
参加学生（内訳）	53 名 <ul style="list-style-type: none"> ・健康福祉学科：1 年 25 名 男子 6 名、女子 19 名（内委託訓練生 6 名） 2 年 25 名 男子 10 名、女子 15 名 ・他学科生：未来キャリア学科 2 年女子 2 名 子ども学科 3 年女子 1 名
参加教職員	健康福祉学科教員 8 名、キャリア支援課員 4 名
開催形式	<ul style="list-style-type: none"> ・出展施設ごと 1 ブース、施設側と学生対面式で長机と椅子を設置 ・説明時間は約 20 分 ・開催時に学長、学科長、キャリア支援課長より挨拶と説明 ・学生は開催時間内に希望施設の説明を数か所聞くことが可能 ・学生の混乱を回避するため、健康福祉学科キャリア支援委員にて事前調整を実施
役割業務・分担 （延べ人数）	会場設営：キャリア支援課員 4 名（前日） 駐車場案内：キャリア支援課員 1 名 受付：健康福祉学科教員 1 名、キャリア支援課員 1 名 会場出迎え：健康福祉学科教員 3 名 会場内案内：健康福祉学科教員 2 名、キャリア支援課員 1 名 事前説明：健康福祉学科教員 2 名 挨拶：学長、健康福祉学科長 説明会学生指導等：健康福祉学科全教員 8 名 アンケート用紙回収：キャリア支援課員 1 名 会場点検・撤去：キャリア支援課員 4 名

2. 学内合同福祉施設説明会の出展施設

福祉合説の出展施設は、実習先や卒業生の就職先が主である。福祉合説の出展施設数は、29社である。出展施設はその年により若干の入れ替えがある⁸⁾。

3. 学内合同福祉施設説明会での学年別説明内容

汎用的技能は、正課のみならず課外活動も含めたトータル的な学びの中で得られるものであり、そうした教育デザインを考慮することも必要とされている⁹⁾。そこで、健康福祉学科1年生に対しては、介護施設や医療機関の概要を知るために、各施設概要の説明、施設のイベント・ボランティア・アルバイトなどの業界研究的な説明をもらい、2年生に対しては、具体的な採用情報収集のために施設概要の説明とともに、採用予定数、選考スケジュール、配属先、雇用条件などの採用情報を説明してもらった。福祉合説会場風景を図1に示す。



図1：福祉合説会場風景

Ⅲ. アンケート

1. 出展施設アンケート

平成 29 年度福祉合説に出展した福祉施設 29 施設(28 法人、29 施設)に、質問事項を自記入式のアンケートにより調査を行った。アンケート回収率は 100%である。出展施設アンケートを図 2 に示す。

平成 30 年 5 月 17 日
名古屋経営短期大学 健康福祉学科 学内合同福祉施設説明会 アンケート
採用担当の皆様へ
本日は、学内合同福祉施設説明会にご参加いただきありがとうございました。 次年度の開催に向けて、アンケートにご協力いただきますようお願いいたします。
貴法人名 _____
1 今回の開催時期について <input type="checkbox"/> 良い <input type="checkbox"/> 悪い (理由: _____)
2 次年度、開催する場合いつ頃が良いとお考えですか? ①何月ごろが適当と思われますか? <input type="checkbox"/> 1 月 <input type="checkbox"/> 2 月 <input type="checkbox"/> 3 月 <input type="checkbox"/> 4 月 <input type="checkbox"/> 5 月 <input type="checkbox"/> 6 月 <input type="checkbox"/> 7 月 <input type="checkbox"/> 8 月 <input type="checkbox"/> 9 月 <input type="checkbox"/> 10 月 <input type="checkbox"/> 11 月 <input type="checkbox"/> 12 月 ②その月のいつ頃が適当と思われますか? <input type="checkbox"/> 上旬 <input type="checkbox"/> 中旬 <input type="checkbox"/> 下旬
3 何名の学生と面談しましたか? 約 _____ 名
4 次年度の説明会に都合がつけば、ご参加していただけますか。 <input type="checkbox"/> 参加 <input type="checkbox"/> 不参加
5 その他 ご要望など自由にご記入ください。
ご協力ありがとうございました。今後ともよろしく願い申し上げます。 本アンケート用紙は、机の上にお置きください。

図 2：名古屋経営短期大学 健康福祉学科 学内合同福祉施設説明会 出展施設アンケート

この出展施設アンケート回答の集計結果を表2に示す。

表2：名古屋経営短期大学 健康福祉学科 学内合同福祉施設説明会出展施設アンケート集計結果

1	今回の開催時期の良し悪し（施設数）	良い：27 悪い：0 無回答：2
2	開催月の希望について（施設数） （開催月については複数回答）	3月：1、4月：2、5月：24、6月：7、7月1、9月：1、 10月：1
3	学生面談人数 （学生面談人数：施設数）	3名：1、4名：1、5名：4、6名：3、7名：1、8名：6、 9名：3、10名：3、11名：2、12名：2
4	次年度の説明会参加の可・不可（施設数）	参加可：28 参加不可：0 無回答1
5	その他 要望等（施設数）	・見学やボランティア参加希望：1 ・隣のパーテーションが欲しい：1

2. 学生アンケート

2-1. アンケート対象学生

アンケート対象学生は、平成29年度福祉合説（平成29年5月18日開催）に参加して、平成30年2月8日の卒業発表に出席した健康福祉学科生44名とした。（6名が卒業発表に出席していなかった）その内訳は、1年生20名：男子5名、女子15名（内委託訓練生6名）、2年生24名：男子9名、女子15名である。但し、他学科生3名（未来キャリア学科2年女子2名、子ども学科3年女子1名）も福祉合説に参加したが、調査対象とはしなかった。

平成30年2月8日の卒業発表出席者における学生アンケート回収率は100%である。平成29年5月18日福祉合説参加者の学生アンケート回収率は83%（44/53名）である。

2-2. 学生アンケート方法

平成30年2月8日、本学1号館145教室において、福祉合説に関する以下の質問事項を自記入式の質問紙法により調査を行った（図2）。アンケートの設問項目は、1）説明を聞いた施設数と選択理由 2）説明会に参加したことについて 3）介護職で働く意味について 4）就職先を選ぶときに重視する度合いについて 5）介護職の講話内容に関して、とした。

回答方法及び検討事項は、1）については数値記入と自由記述式、3）については自由記述式、2）、4）については各項目において1つを回答とした。5）については優先順位の高い順に3つ選択させた。学生向け学内合同福祉施設説明会についてのアンケートを図3に示す。

平成30年2月8日

*** 学内合同福祉施設説明会についてのアンケート ***

平成29年5月18日に開催した学内合同福祉施設説明会について、以下の設問にご回答をお願いします。

設問1：説明を聞いた施設数とそれらを選択した理由を教えてください。

施設数→ _____ 件（選択理由： _____ ）

設問2：説明会に参加したことについて。（各項目に1つ〇印をつけてください）

	強	やや強い	やや弱い	弱	当てはまらない
①介護の職場についてよくわかった。	5	4	3	2	1
②介護の業務についてよくわかった。	5	4	3	2	1
③介護の仕事に就こうと思った。	5	4	3	2	1
④就職を考えることに役立った。	5	4	3	2	1
⑤知りたい内容と違っていた。	5	4	3	2	1
⑥ためにならなかった。	5	4	3	2	1

設問3：介護職で働く意味は何だと考えますか？

設問4：就職先を選ぶときに重視する度合いについて。（各項目に1つ〇印をつけてください）

	強	やや強い	やや弱い	弱	当てはまらない
①賃金・手当	5	4	3	2	1
②休日	5	4	3	2	1
③就業場所	5	4	3	2	1
④業務内容	5	4	3	2	1
⑤福利厚生	5	4	3	2	1
⑥職場環境	5	4	3	2	1
⑦教育体制	5	4	3	2	1
⑧運営方針	5	4	3	2	1

設問5：介護職に関するどんな話が聞きたいですか。

（優先順位の高い順番に番号を記入してください）

- ①介護の職場での体験談 ②本学卒業生の職場での体験談
 ③管理職（中間管理職）の意見 ④仕事と家庭の両立の体験談
 ⑤周辺専門職（ケアマネ・社会福祉士など）が新人介護福祉士に求めること
 ⑥その他（ _____ ）
 第1 第2 第3

回答者： 学年 _____ 性別 _____ （委託訓練生は右に〇印： _____ ）

ご協力ありがとうございました。

図3：学内合同福祉施設説明会についてのアンケート

3. 平成 29 年度学内合同福祉施設説明会における学生アンケート結果

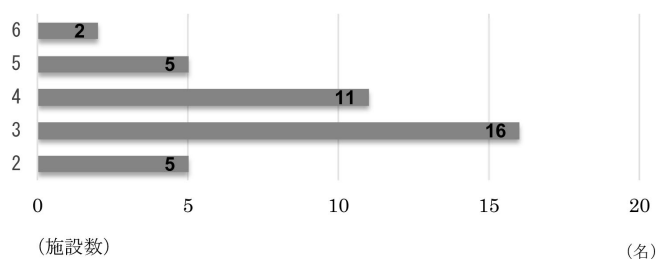
3-1 アンケート対象学生

1年：20名（20/25）、男性：5名、女性：15名（委託訓練生：6名）回収率 80%
 2年：24名（24/25）、男性：9名、女性：15名（委託訓練生：0名）回収率 96%
 （委託訓練生/学科生：6/44 13.6%）

3-2 アンケート結果

学内合同福祉施設説明会についてのアンケート集計結果

表 3：説明を聞いた施設数とそれらを選択した理由



理由：施設興味 18名、近隣 7名、就労意識等 6名、その他 1名

表 4：説明会に参加後の感想

- ① 介護の職場についてよくわかった
- ② 介護の業務についてよくわかった
- ③ 介護の仕事に就こうと思った
- ④ 就職を考えることに役立った
- ⑤ 知りたい内容と違っていった
- ⑥ ためにならなかった。

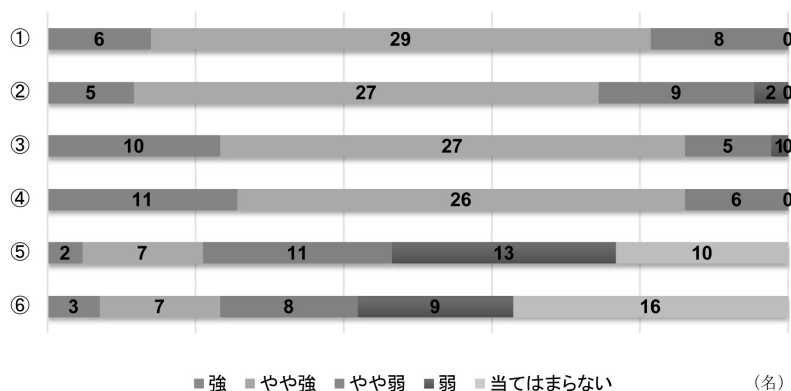


表5：介護職で働く意味は何だと考えますか？

学生の記述内容から分類を行った。

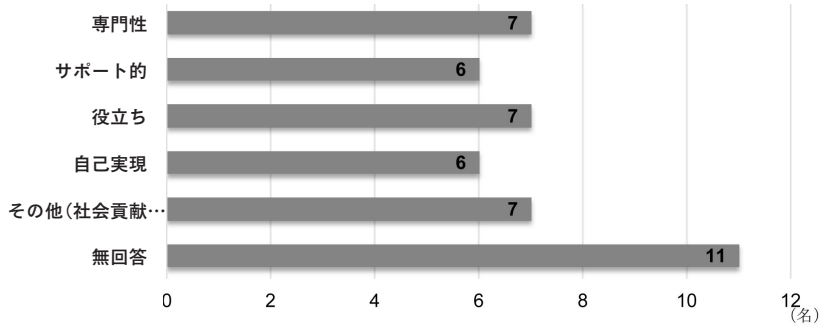


表6：就職先を選ぶときに重視する度合いについて

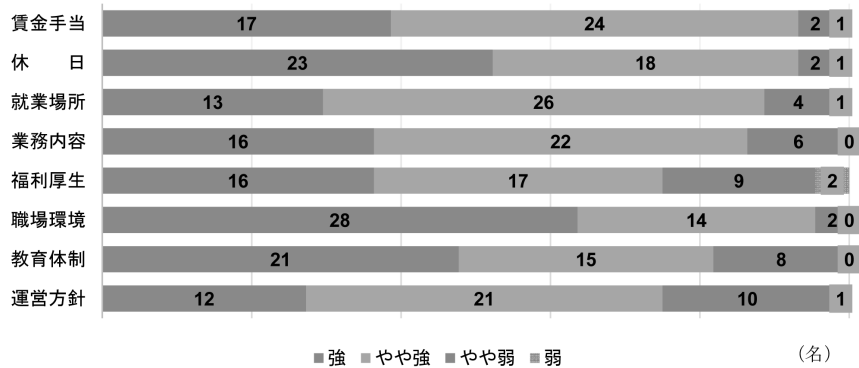
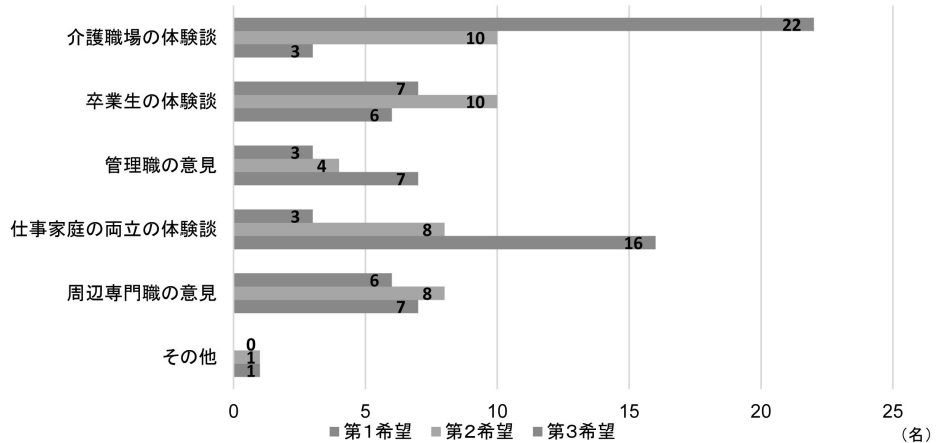


表7：介護職に関するどんな話が聞きたいですか



IV. 他学科生の福祉合説への参加促進について

キャリア支援課担当者は、昨今の介護職人材不足と介護労働需要の高まる状況を鑑み、平成29年度に健康福祉学科キャリア支援委員を通じ、福祉合説への他学科生の参加を依頼した。

1. 学内掲示

平成29年5月の健康福祉学科会で他学科生の福祉合説参加の了解を得た。キャリア支援課では、他学科生に周知するため、学内に福祉合説案内ポスターを作成し、以下に掲示して、受付と資料提供をした(図4)。

- ・ 掲示場所：1号館3階 学生サポートセンター内 キャリア支援課入口壁面
1号館2階 学生インフォメーションホール キャリア支援課用掲示板
2号館3階 キャリア支援課用掲示板
- ・ 参加受付：キャリア支援課窓口にて、氏名・学籍番号を受付簿に記載。
参加希望者には福祉合説の案内資料を提供した。

これにより未来キャリア学科生2名、子ども学科生1名の合計3名が参加することができた。

第4回 学内合同福祉施設説明会

★ 日 時 : 平成29年5月18日(木)
午後1時~午後3時

★ 会 場 : 文化センター3階 C31

★ 集 合 : 午後0時40分
143教室

★ 対 象 : 短大 健康福祉学科 1・2年

★ 服 装 : リクルートスーツ

★ 服装・髪型等に乱れがあると、入場をお断りします。

★ 他学科で介護・福祉施設を進路考案中の方も参加できます!
参加希望者は、キャリア支援課へお申し出ください。

キャリア支援課

図4：第4回 学内合同福祉施設説明会 学内掲示物

2. 他学科生の卒業後の進路

参加した他学科生3名のうち、2名が福祉施設に就職内定した。未来キャリア学科生1名は、この福祉合説出展施設の新規事業所に内定することができた。この学生は地元の介護施設に就職することを漠然と考えていた程度で、具体的な就職活動

を全くしていなかった。そのためキャリア支援課担当職員は健康福祉学科教員と連携して、当該学生居住地の利便性のある市中央部に新設工事中の福祉施設を調査した。そこで福祉合説出展施設と判明したため、キャリア支援課担当職員は施設担当者に連絡をして、新規開設準備室での説明会参加並びに採用面接を受けることができた。もう一人の未来キャリア学科生1名は、福祉合説参加に留まった。

子ども学科生1名はこの福祉合説参加を機に介護職を志望し、積極的にキャリア支援課で介護施設の資料を収集して、複数の説明会や実習体験に参加した。また本学未来キャリア学科の介護初任者研修科目を履修し、介護福祉系資格取得にも積極的になった。そして地元のデイケア施設に内定した。

V. 健康福祉学科卒業生の進路

平成18年4月健康福祉学科開設より、平成30年3月までに284名の卒業生を輩出している¹⁰⁾。

平成30年2月現在、福祉合説出展施設に採用・採用内定した学生は、114名である¹¹⁾。つまり卒業生の40.14% (114/284名)が、福祉合説での出展施設に内定している。

VI. 考 察

出展施設アンケート並びに学生アンケートの調査結果を中心に振り返り、次年度の開催について考察する。

1. 出展施設アンケートからの考察

すべての出展施設から採用意向が示され、次年度の説明会においても積極的な出展希望をしている。開催時期については、今回実施した5月を希望するという回答が多かった。

2. 学生アンケートからの考察

説明会は2時間を確保したが、多くの学生は3~4施設の説明を受けるに留まったが、一部の学生は6施設の説明を受けることができた。事前に健康福祉学科において、最初に説明を受ける施設を割り振った。これは効率よく施設の説明を聞くことを想定したためであったが、学生の施設訪問数に差が生じていた。学生が説明を受ける施設を選ぶための時間、並びに事前情報を学生にどう提供するかを検討する必要がある。

設問2の①「介護の職場についてよくわかった」②「介護の業務についてよくわかった」③「介護の仕事に就こうと思った」④「就職を考えることに役立った」は、強い、やや強いを合わせた肯定的回答が75%以上であったのに対し、⑤「知りたい内容と違っている」

⑥「ためにならなかった」は25%未満であった。これらの少数の意見を基に、福祉合説の内容を検討する必要がある。

介護職で働く意義については、介護専門性、介護サポート、社会貢献、自己現実などについて自分なりに考えている学生が多い。しかし20%の学生が無回答であった。介護職で働く意義について考えさせる機会等を検討したい。

就職先を選ぶときに、賃金・手当、休日を肯定的に回答した学生が90%以上いた。福利厚生、運営方針は、75%程度でやや重視度が低い。これらの傾向から、賃金・休日以外の就業後の労働条件などについては、学生の関心はあまり高くないと考えられる。

学生が介護職について聞きたいことでは、「介護の職場の体験談」が最も多い（第1希望から第3希望までの総数35）。「仕事と家庭の両立」が2番目（総数27）に多い。「卒業生の体験談」が3番目（総数23）である。このように学生は「意見」よりも、介護現場の具体的な「体験談」を聞くことを要望していること推察される。

VII. おわりに

本学では、これまで健康福祉学科とキャリア支援課が連携して、平成26年度より毎年5月、複数の介護福祉施設が出演する福祉合説を開催してきた。目的は、就職率の向上と将来の介護福祉施設において学生自身がキャリア形成を促進させる支援である。福祉合説は、図1のように少人数での説明会である。本年度は、それらの効果を捉えるために、学生の就業意識についてアンケート調査を加えた。その結果から、福祉合説によって、多くの学生は、介護職についての理解を深め、就業意識を高めることができたと考えられる。また、介護職の業務内容について具体的な体験談を聞きたいというニーズがあることも確認できた。しかし、介護職に対する捉え方が個々の学生によって温度差があり、施設側の説明に対してメモや質問をしないまま受動的に参加する学生もいた。

今後は、各介護施設との連携を強化しつつ、本学では事前指導において介護職としての働く意義をどう捉えさせるか、就職意識を高めるための方策、あるいは、各種情報をどのように提供していくかを検討し、さらに、個々の学生のニーズも把握して有用な福祉合説を継続的に開催できるようにしていきたい。

注

- 1) 公益財団法人介護労働安定センター 平成29年度「介護労働実態調査」の結果 調査結果のポイント
- 2) 厚生労働省愛知労働局 平成29年11月分 最近の雇用情勢 p3、p11
- 3) 平成29年11月の全体求人社数8,145社に対し医療福祉職1,727社で21.1%、平成28年11月は全体求人社数7,283社に対し医療福祉職1,534社で21.0%、平成27年11月は全体求人社数6,201社に対し医療福祉職1,299社で20.9%、平成26年11月は全体求人社数4,978社に対し医療福祉職1,141社で22.9%である。
- 4) 本年（平成29年）11月の内定率78.3%、各年度11月での就職希望者の内定率をみると、平成28年

- 51.4%、平成 27 年 70.0%、平成 26 年 51.5%という状況。
- 5) 株式会社リクルートキャリア 就職みらい研究所【確報版】「2017 年 12 月 1 日時点 内定状況」就職プロセス調査 (2018 年卒) https://data.recruitcareer.co.jp/research_article/20171222001/ (2018.4.12 最終閲覧)
 - 6) 松本侑子、新井邦二郎、佐藤純 (2010)「就職不安に関する研究の動向」筑波大学心理学研究 40 : pp. 43-50
 - 7) 福祉人材センター・福祉人材バンク (2015)「学生のための福祉の就職活動ガイドブック」社会福祉法人全国社会福祉協会中央福祉人材センター 2
 - 8) 平成 26 年 : 28 施設、平成 27 年 : 28 施設、平成 28 年 : 28 施設、平成 29 年 : 29 施設
 - 9) 「日本教育工学会論文誌」34 (1) p19
 - 10) 健康福祉学科卒業生 (年度 : 人数) 平成 21 年度 : 8 名、平成 22 年度 : 19 名、平成 23 年度 : 52 名、平成 24 年度 : 38 名、平成 25 年度 : 24 名、平成 26 年度 : 53 名、平成 27 年度 : 30 名、平成 28 年度 : 36 名、平成 29 年度 : 24 名
 - 11) 福祉合説出展施設に内定者 (年度 : 人数) 平成 21 年度 : 2 名、平成 22 年度 : 5 名、平成 23 年度 : 19 名、平成 24 年度 : 11 名、平成 25 年度 : 8 名、平成 26 年度 : 25 名、平成 27 年度 : 20 名、平成 28 年度 : 13 名、平成 29 年度 : 11 名